

「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」 春の火災予防運動

【令和8年4月5日（日）～4月11日（土）】

高齢者を火災から守るために！

令和6年、全国では住宅火災によって1,000人を超える方が亡くなっています。

そのうち、65歳以上の高齢者は7割を超え、「逃げ遅れ」で亡くなった方が半数近くを占めています。住宅火災の発生や逃げ遅れを防ぎ、命を守るために、日頃から取り組むべき「住宅防火10のポイント」に注意し、火災予防に努めましょう。

住宅防火 いのちを守る 10のポイント

4つの習慣

- 

1 寝たばこは絶対にしない、させない
- 

2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない
- 

3 こんろを使うときは火のそばを離れない
- 

4 コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

6つの対策

- 

1 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する
- 

2 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- 

3 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防火品を使用する
- 

4 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく
- 

5 お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- 

6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

林野火災に注意！！

令和8年4月1日から林野火災注意報・警報が始まりました！

- ・【林野火災注意報】の発令中は、屋外での火の使用を控えてください。
- ・【林野火災警報】の発令中は、屋外での火の使用は禁止です。



↑ 秋田市公式ホームページ

林野火災（山火事）の多くは、火の不注意な取扱いが原因です。

林野火災は急激に広がります。
屋外で火を使うときは、次のことに気を付けましょう。



(消防庁発行)「STOP山火事！」を加工して作成

(https://www.fdma.go.jp/relocation/html/life/yobou_contents/materials/pdf/36_yamakaji.pdf)

リチウムイオン電池を原因とする火災に注意!!

【リチウムイオン電池を使用するときは】

- 1 PSEマーク等（基準適合品）が付された製品を使用する。
- 2 強い衝撃や圧力を加えない、高温環境下では使用・保管しない。
- 3 電池の膨張などの異常発生時には使用を中止する。

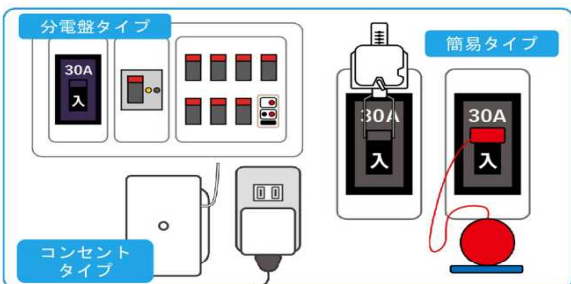


↑ 秋田市公式ホームページ

(環境都市推進課)

地震による電気火災対策を！！

電気火災対策には感震ブレーカーが効果的です。



・分電盤タイプ：分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断（内蔵型）

・分電盤タイプ：分電盤に感震機能を外付けするタイプ、漏電ブレーカー設置が前提条件（後付型）

・コンセントタイプ：コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断

・簡易タイプ：ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断

(消防庁発行)「地震火災を防ぐポイント」を加工して作成

(https://www.fdma.go.jp/publication/movie/juutaku_bouka/items/r02_jishinkasai_leaflet.pdf)



↑ 秋田市公式ホームページ

秋田市消防本部

お問い合わせは、秋田市消防本部 予防課（823-4247）または、最寄りの消防署へお願いします。